

高田高校安塚分校だより



直峰通信

令和3年2月17日（水）発行

「春暮れてのち夏になり、夏果てて秋の来るにはあらず。春はやがて夏の気を催し、夏よりすでに秋は通ひ、秋はすなはち寒くなり、十月は小春の天気、草も青くなり梅もつぼみぬ。」

（「徒然草」155段より引用）

「小春」は陰暦の十月、古典では初冬にあたります。この頃すでに春のような暖かい天気が続くので、このような記述があるとされています。暦は立春を過ぎました。ここ安塚においても、次第に空気が緩み、春近しと感ずることが多くなりました。雪の下では、我々の思いより早く、春の準備は進んでいることと思われまふ。まだ2メートルある雪の下で、ふきのとうは芽を出す準備を始めていることでしょう。時折寒波が訪れる2月ですが、私たちが春の準備を少しずつ始めるときが来ています。

そして受験生の皆さん、2月末の国公立大学入試や3月の公立高校入試に向け、もう一踏ん張りです。体と心を整え、これまでのとおり、日々の学習を積み重ねてください。「冬来たりなば春遠からじ」です。



美術室より

芸術科の授業を選択している生徒から、いつも学校に彩りを加えてもらっています。町全体が白と黒に染まるこの季節、対照的に校内は華やかになります。以下、「美術室だより」からの抜粋です。

1年生の授業光景です。冬の課題「ペーパーステンドグラス」を制作しています。



雪で覆われるモノトーンの世界をカラフルに彩り、学校空間を楽しくしようという企画です。



さて、いよいよ展示！
廊下は寒いけど、展示は格別の時間
喜びが湧いてきます



「雪だるま通り」ができました
雪の白さで作品の色が
いっそう美しく感じられます

晴れ間には窓から光が差し込み、廊下の床に雪だるまの透明なシルエットが投影され、ファンタスティックな空間が出現します。

生徒玄関前の安塚ギャラリーでは、3年生の「卒業」をテーマに描いた絵画作品と、1年生の「ボックスアート」作品を展示しています。



〔教科担当が1年生と一緒に
制作した「雪の野原」〕



「希望に向かって」 「進むべき扉に向かって」



左から「マリオネット」 「七輪で焼く餅」
「晴れた日の雪山」 「青い大空」

分校HPでも「美術室だより」を掲載中です。高田高校HPから入れます。御覧ください。

2月・3月行事予定

- 2/18(木) 学校スキー
〔キューピットバレースキー場〕
- 2/27(土) 安塚「灯の回廊」キャンドルロード
〔分校前を美しく飾ります〕
- 3/1(月) 卒業式
- 3/4(木)～9(日) 高校入試(一般選抜)
〔登校禁止期間となります〕
- 3/12(金) 一般選抜合格発表
- 3/16(火) 2年就職セミナー
- 3/19(金) 3学期終業式

～第4回安塚分校卒業式～

3月1日(月)、安塚分校から11名の卒業生を送り出します。今年は感染症の影響で来賓の皆様には参加をご遠慮いただいていたの式となりますが、その分、出席できる者で温かいはなむけの式にする予定です。卒業生は4月からの進路も決まりつつあり、それぞれが次の舞台への一步を踏み出します。安塚分校もいよいよ、最後の入学生を受け入れる準備を始めます。

これからも御支援よろしくお願い致します。

新潟県立高田高等学校安塚分校

〔担当:教頭 沢田貴博〕

〒942-0411 上越市安塚区下方129番地
HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

電話 025-592-2306 FAX 025-592-3541
mail school@tadakayszk-h.nein.ed.jp